

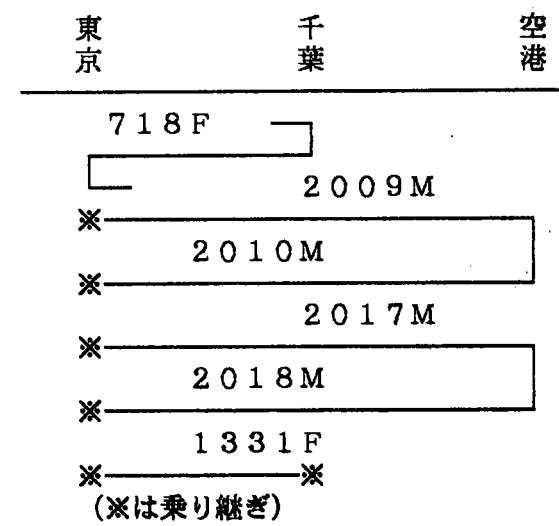
日刊 労働千葉

国鉄千葉労働組合

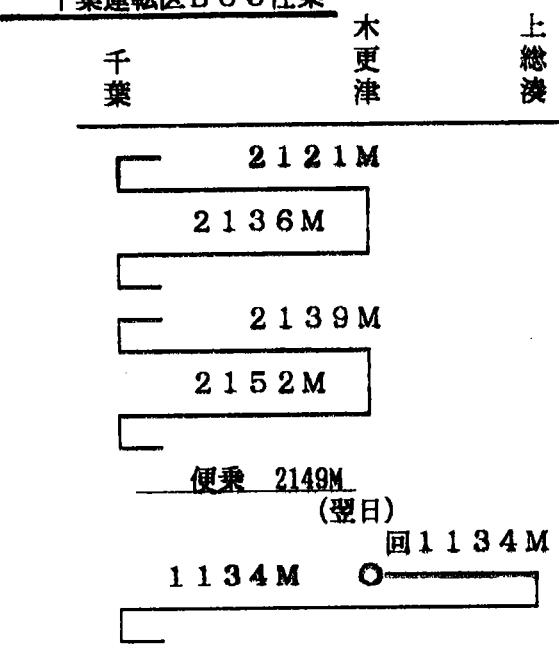
〒280 千葉市要町2番8号(労働組合会館)
電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 千葉 (22) 7207番

No. 91.2.19 3351

○ 日勤で395、2kmの仕業
千葉運転区B 251仕業



○ 泊りで223、1kmの仕業
千葉運転区B 63仕業



乗務仕業をすぐに改善しろ

一日で400キロ あまいに交番作成
泊りで223キロ デタラメな交番作成

不誠実な団交の繰返し
とりわけ、今次ダイ改
においては、各区とも労
働強化とともに、「蘇我」

番となつた現在の制度になつて以降、乗務員の勤務は労働強化の連続であった。とりわけJRに移行してからは、国鉄の時と比べても、仕事量が二倍になつたといつても言いすぎではない。

ある。労働車乗務員の勤務が、八五年三月ダイ改から超勤前提の乗務割交

時間が短すぎる、といつた乗務員にとっては切実な問題があるにもかかわらず、JR当局は一向に改善する態度を見せないできた。「一旦提示したことは、かえるつもりはない」という姿勢に

われわれは、JR東日本においてダイヤ検討委員会を行い、その問題点を調査しているが、その中で判明したことは、よ

り一層の乗務員の労働強化が行われていることで、JR当局は、これまで問題になる、食事時間がとれない、折り返しの時間が短すぎる、といった乗務員にとっては切実な問題があるにもかかわらず、JR当局は一向に改善する態度を見せないできた。「一旦提示したことは、かえるつもりはない」という姿勢に

従来から、ダイ改の時に必ず問題になる、食事時間がとれない、折り返しの時間が短すぎる、といった乗務員にとっては切実な問題があるにもかかわらず、JR当局は一向に改善する態度を見せないできた。「一旦提示したことは、かえるつもりはない」という姿勢に

まさに、JR当局は、JR総連革マルと一体となって、乗務員に極限まで労働強化を強いている。このままでは、乗務員は「使い捨て」にされてしまう。

まさに、JR当局は、JR総連革マルと一体となって、乗務員に極限まで労働強化を強いている。このままでは、乗務員は「使い捨て」にされてしまう。

固執し、団交の場においても「乗務員の仕業及び交番については、就業規則及び乗務割交番作成規定に基づき作成しているところである(勤労千葉申一号に対する回答又は見解)」などと、木で鼻をくくつたような、紋切り型の回答ならざる回答を繰り返すのみである。

勤労千葉は、乗務員の切実な要求をJR当局につきつけ、ダイ改闘争を開っている。JR当局があくまでも不誠実な団交を繰り返すなら、われわれは、ストライキをもつて闘いぬく。スト体制を構築し、二・二二総決起集会に全力で集まる。

労働学校開校



JR一九一年をどう闘うか」と題して、中東湾岸戦争をはじめとする激動する世界の動きと、それとどう対決していくかをあらためて確認した。

そして、海部政権が九〇億ドルの軍事援助と、自衛隊の海外派兵策動など参戦国化していることについて、今の体制は労働者にとってプラスには打倒するしかない、と明確に提起した。

参加者は、あらためて九一・三ダイ改闘争に総決起することを確認して、労働学校を終了した。この講座の内容は、近日発行の「機関誌・勤労千葉」に掲載されます。

二月九日十三時から、千葉市文化センターにおいて、勤労千葉労働学校第V期第二回講座が、四三名の組合員の参加のもとに開催された。

中野委員長を講師に、「激震する世界・日本・J.R一九一年をどう闘うか」と題して、中東湾岸戦争をはじめとする激動する世界の動きと、それとどう対決していくかをあらためて確認した。

そして、海部政権が九〇億ドルの軍事援助と、自衛隊の海外派兵策動など参戦国化していることについて、今の体制は労働者にとってプラスには打倒するしかない、と明確に提起した。

参加者は、あらためて九一・三ダイ改闘争に総決起することを確認して、労働学校を終了した。この講座の内容は、近日発行の「機関誌・勤労千葉」に掲載されます。